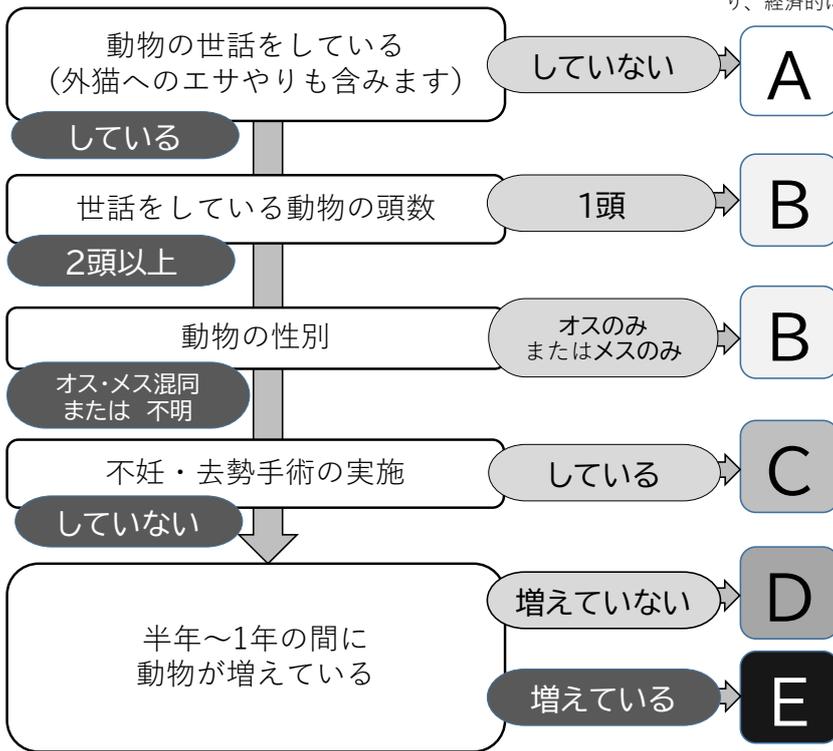


# 多頭飼育崩壊チェック表

## 多頭飼育崩壊とは？

無計画に動物を飼育した結果、飼い主の予想を超えて繁殖し、飼育、管理が出来なくなる状態になることです。世話をしきれない動物により家の中は不衛生になり、動物も人も劣悪な生活環境で生活することになるほか、飼育費用の増大により、経済的に破綻し、状況を解決できない状態となってしまいます。



A	多頭飼育崩壊危険度:なし
B	多頭飼育崩壊危険度 : 低 頭数が増えない限りは危険度は低いです。
C	多頭飼育崩壊危険度 : 中～大 新たに動物をもらったり拾ったりして増え始めると危険です。
D	多頭飼育崩壊危険度 : 大 問題は発生していませんが、不妊・去勢手術をしていないオスとメスがいますので、多頭飼育崩壊の可能性ががあります。
E	多頭飼育崩壊危険度 : 高 対策が必要です。 至急保健所に連絡してください。

## 多頭飼育崩壊危険度解説

A	問題ない状況です。 (動物が寿命を迎えるまで世話を続けることはとても大変です。)
B	危険度は低い状況ですが、問題を未然に防ぐためには、不妊・去勢手術が重要です。 (動物の脱走や外部からの侵入による予定外の繁殖、生殖器系の病気の予防及び複数飼いによる縄張り争いを防ぐことができます。)
C	新たに動物をもらったり、拾ったりしていないことがポイントです。
D	不妊・去勢手術の未実施は、動物の更なる増加や飼い主の生活状況の悪化があれば多頭飼育崩壊につながります。
E	動物の頭数が対象者の飼育管理能力を上回ると、多頭飼育崩壊に至ります。 <u>頭数の把握、動物の状態、飼育環境等、早急に確認する必要がありますため、保健所に連絡してください。</u>

多頭飼育崩壊は未然に防止することが重要です。

相談先:いわき市保健所生活衛生課動物愛護係 Tel 27-8592